

# 手持ちのスマホがビジネスフォンに

## Ringling、中小向けにクラウドPBXサービス

スタートアップ企業、Ringling（横浜市中区本町、☎050・5526・4164）は、中小・小規模企業向けにクラウドPBX（構内電話交換機）の導入支援サービスを始めた。コロナ禍でテレワーク環境が定着しつつある中、スマートフォンによる専用アプリを利用し、クラウドPBX経由で、どこにいてもオフィス勤務時と同様に、外線や内線電話を受信・転送することができる。初期費用ゼロで、月額1万円から導入できるようにした。

広く普及するビジネスフォンが電話回線を使うのに対し、クラウドPBXはインターネット回線を使用する。そのため、ネット

環境さえあれば、回線工事などの初期費用が不要で、手持ちのスマートフォンがビジネスフォン代わりになる。

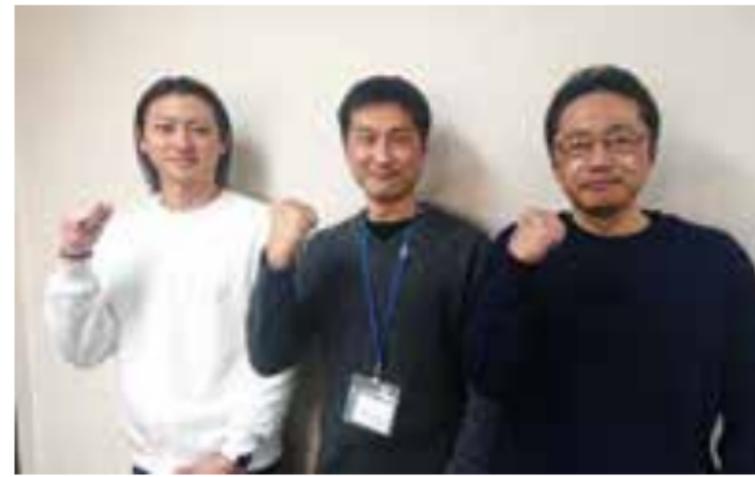
同社によると、企業間で在宅勤務が広がるにつれて「メール対応のみ」「コールセンター機能縮小」といった事例が起きるようになったという。そうなるビジネス自体にも悪影響を及ぼしかねないため、今後はクラウドPBXを普及させていきたいとしている。

「はまふぉん」と名付けた同サービスは、専用のアプリで“クラウド上のビジネス

フォン”を使用する。

テレワーク中でもオフィス勤務と同じように電話が使えるという。現在は「045」の発信番号も準備している。

中小企業でも導入しやすいような価格帯を設定。基本は月額1万円（1～10内線）で、11端末以降は1端末当たり1000円で増設可能。オフィス事情に合わせてカスタマイズできるほか、小規模コールセンターも開設できるよ



うになるという。

小川貴之社長は「パッケージ化されたサービスと違い、企業の規模や事情に応じたカスタマイズも相談してもらえたら」と話している。